

# イワギボウシ

*Hosta longipes* (Franch. et Savat.) Matsum.

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

石川県では産地がきわめて限られた種類である。(現況:RO)

## 形態

類似種はオオバギボウシであるが、本種の苞は膜質で花茎が伸長する初期から蕾が見え、また、花筒合着部の透明線は明瞭で長いのに対して、オオバギボウシの苞は草質で花茎が伸びる初期には蕾は見え、また透明線は短い線状または点状である。本種の葉は厚く卵形で、葉身の長さはオオバギボウシより小柄で10~13 cm、暗緑色で紫黒色の斑点がある。花茎は約30cm、花は白色~淡紫色、花糸は花筒の基部と離生する。苞は開花時にはしおれる。

## 国内分布

本州の関東・中部地方に分布する。

## 県内分布

南加賀区。手取川上流の山地帯に分布。白山高地区には分布しない。

## 生態など

開花期は8~9月。

## 生育環境

山中の湿った岸上や樹上に生育。

## 危険要因

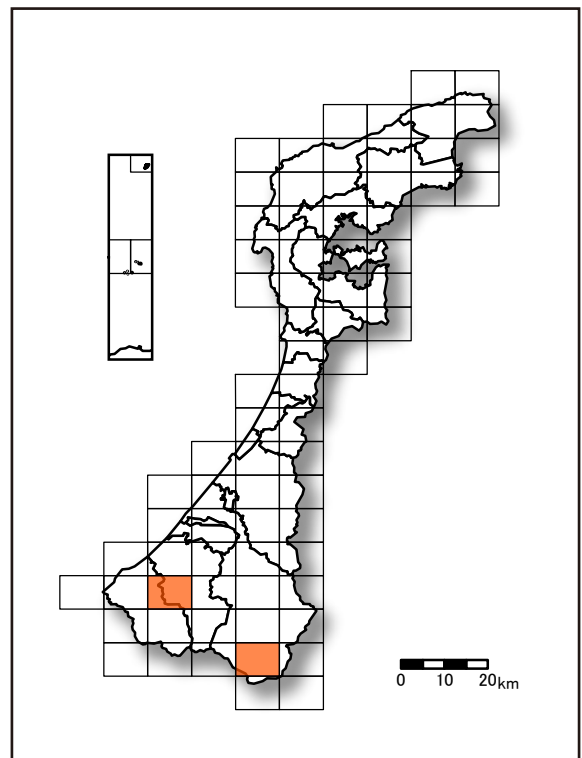
産地局限、森林伐採、園芸採取。

## 特記事項

県内では近年の発見。



林 二良・2008年8月6日・白山



県内の分布